

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第18回 講演会

リズムはしゃべり言葉から

一般的に音の長短の組み合わせとしてのみ扱われ、表情が等閑にされがちなりズム教育。そこに言葉を取り入れ、リズム本来の魅力を体感できるような教育をされている高橋千佳子先生に、どの様に言葉を活用されているのか、言葉とリズムをいかに結びつけているのか、具体的方法を提示していただき、リズムの魅力について改めて語っていただこうと思います。

始めの第一歩にこそ、一番の秘密が隠されているはず。是非、多くの方々にご参集いただきたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2026年5月17日(日) 14:30 開演(総会終了後開場)

会場：東京藝術大学音楽学部 5-109 大講義室

対象：①対面

②オンライン

2026年6月21日(日) 20:00～7月20日(月) 10:00

講師：高橋 千佳子

「ソルフェージュみたいに弾かないで！」とピアノの先生がおっしゃる時に、悪いのはSol.側でしょうか？私は「そうなのだ！」と思います。リズムの形を覚える口唱「タタータ」「タータタ」等は言葉においては始めの一步の段階です。ピアノの先生方も、この「タ、タ、タ、タ」達を「リズム」と捉えているようですが…。そこにはリズム本来の持つニュアンス、特徴、必然性などは皆無で、ひたすら長い・短いを教えられているのです。Sol.側が生徒を抑揚のあるリズムを唱えられるように育ててから piano 側にお渡しするのが本来の姿なのでは？

リズム本来の魅力をどうしたら教えられるかを考えたとき、元となったしゃべり言葉にヒントがあるのでは、と思った次第です。拙著「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」にも触れながら考察いたします。

高橋 千佳子 Takahashi Chikako

東京藝術大学作曲科卒業。同大学院ソルフェージュ科修了。現在、東京音楽大学附属高校講師。成城ソルフェージュ研究会代表。日本ソルフェージュ研究協議会理事。又、CM 作曲家としても活動。代表作は明石家さんまのキックマン・ボン酢しょうゆ「しあわせって何だっけ？」著書に「ドレミでみつかる名曲のヒミツ」「しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座」(音楽之友社)「いちばんやさしい3歳からのソルフェージュ」「いちばんやさしい5歳からのソルフェージュ」シリーズ。「たのしいリズムパーティー1, 2巻」「ププルのリズムカード」(ヤマハ MEH) 他多数有り。

入場料：無料

(会員以外の方は、当日以下の諸経費負担をお願いいたします)
一般 3,000 円、学生 1,000 円

問合せ先：日本ソルフェージュ研究協議会事務局

E-mail : ni.sol.ken@gmail.com

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

会員ログイン用 QR コード



オンライン視聴は以下の会員ログインの URL
もしくは左の QR コードからお入りください。

<http://www.ni-sol-ken.com/member/auth.php>

Homepage



Facebook



東京藝術大学
上野キャンパス
音楽学部

